

社会資本総合整備計画 事後評価

令和3年3月31日

計画の名称	高崎市都市公園防災機能強化計画（防災・安全）			重点計画の該当	○
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	高崎市		

群馬県高崎市は、榛名山麓等の森林が西部に広がり、烏川沿いと丘陵部や市街地の郊外部に農地が広がり、市域を貫くように烏川が流れ、都市の緑から、農地、森林などの多様な自然に恵まれた都市である。また、市城南東部には、都市化が進む中心市街地とともに、新幹線、高速自動車道などの交通網が集中する交通拠点を有した市街地が広がり、100km圏内に東京都、長野市、150km圏に水戸市、成田市、さらにその外周に新潟市などが位置し、これらの都市の港湾や空港へ、新幹線、高速自動車道などを介して、効率的なアクセスが可能な位置にある。この特性を活かし、「緑・花・水と人が交流する環境共生都市 たかさき」を目指し、都市公園の整備を進めることにより、緑とスポーツによる市民の交流と創造の場を創出するとともに、災害時における避難地、救急活動や物資集積・配給基地、大規模災害時における長期の避難生活や復興事業の拠点づくりを行う。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人あたりの都市公園面積を 21.2㎡/人（H27）から 22.3㎡/人（H31）に増加</li> <li>自治会単位での自主防災会の組織率を 55%（H27）から 81%（H31）に増加</li> <li>スポーツに親しめる環境への満足度を 32.4%（H27）から 32.9%（H31）に増加</li> </ul>				
----------------	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	
高崎市の都市計画区域における、一人あたりの都市公園面積を算出する。 Σ（都市公園面積）/Σ（都市計画区域内人口）（単位：㎡/人）	21.2㎡/人	21.7㎡/人	22.3㎡/人	
自治会単位での自主防災会の組織率を算出する。 Σ（自主防災組織のある自治会（世帯数））/Σ（高崎市内の自治会（世帯数））×100（単位：%）	55%	68%	81%	
市民アンケートにより、スポーツに親しめる環境への満足度の割合を算出する。 Σ（手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると回答した数）/Σ（アンケート調査の回答）×100（単位：%）	32.40%	32.40%	32.90%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5,210 百万円	A	5,210 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	---	-------	-----------------------------	------

1. 交付対象事業の進捗状況

A 基幹事業																	
A1 都市防災・公園事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
A1-1	都市公園	一般	高崎市	直接	高崎市	都市公園事業（浜川運動公園（拡張））	公園整備 A≒19.1ha	高崎市						5,210	6.01	—	
小計													5,210				

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

B1 道路事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
小計													0		

C 効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
小計													0			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
小計													0		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>公園整備により、スポーツ施設はもちろんであるが、それ以外の施設も盛んに利用され、市民の憩いの場として認知されつつある。</li> <li>自主防災会の斡旋により防災拠点整備の機運は高まる一方である。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標① 高崎市の都市計画区域における、一人あたりの都市公園面積を算出する。	最終目標値	22.30%	目標値と実績値に 差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>本公園面積8.8haが令和元年度の公告後の集計に間に合わなかったため。 (公告日：令和2年7月10日以降は最終目標値22.30%達成している)</li> <li>自治会長の業務増大により、自主防災組織の計画から実施に想定以上の時間を要しているため、防災担当課を軸として自治会サポートしながら推進を図っていきたい。</li> </ul>
		最終実績値	22.10%		
	指標② 自治会単位での自主防災会の組織率を算出する。	最終目標値	81.0%	目標値と実績値に 差が出た要因	
		最終実績値	79.70%		
	指標③ 市民アンケートにより、スポーツに親しめる環境への満足度の割合を算出する。	最終目標値	32.90%	目標値と実績値に 差が出た要因	
		最終実績値	36.10%		
III 定評的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針)					
本計画終了後の令和2年度も「高崎市都市公園防災機能強化計画 (防災・安全)」を実施中であり、引き続き整備を進めることにより、災害時の避難地等の防災効果の創出や公園利用者の利用促進を図る。					